常磐毎日新聞

八月二十七日　夕刊

日曜日は空日休刊

常磐毎日新聞社

印刷の御用は常磐毎日印刷株式會社へ　電話六三〇番

暴利取締の懇談

商工會員平署に參集

平商工會では暴利取締に關し各商店が種々の疑問を生じ營業上に支障を來す場合が尠くなく殊に一種の常識解釋に依つて處理するの結果は圖らずも取締法に抵觸して失敗を迎く惜れがないと限らぬので當局の解釋や注意をよく聽取する必要を生じ今廿七日午後七時から平署會議室に參集、縣保安課係員の講演を聽き種々懇談する事となつた

下駄の高騰を制止され度い

靴代用の學校側も最近の値上に狼敗

靴の統制に伴つて一番喜んだのは下駄商人だが最近下駄の値上りはまた眼の眩むほどで靴の統制規程前は下等の駒下駄が一円以下七、八十錢のものが現在では一円三、四十錢、また雜木の四、五十錢のものが六、七十錢と暴騰してゐる始末で市内各中等學校が早くも下駄履きを勵行したものゝこれでは一ケ月一足とみてどうしても六、七十錢、一ケ年八、九円を要し靴代と變らぬ代價を支拂ふ結果になるので學校當局としては出來得れば三、四十錢程度のものとして生徒の出費輕減と共に代用品の立場から安價提供を自論んでゐるが現在の市況の如く六、七十錢でないと雜木下駄を履けぬとなれば他の方法を案出する方針らしくいづれにせよ下駄の高騰は何等かの方法で抑制する必要が叫ばれて來た

市役所の廣場で空の生命線上映

明日午後七時から

平市役所にては明廿八日午後七時から一般の防空意識を强調する爲め構内廣場にて防空映畫會を催し『空の生命線』と題する映畫を上映する由で一般の來觀を歡迎すると

戰地の寄附

目下國防の第一線に立ち活躍してゐる高久村大字下高久出身歩兵一等兵本馬喜鶴君は過般戰線から同村銃後會に金五円を送附して來たがこの程更に五円を送附村長はじめ吏員逸を感激させてゐる

餞別を献金

豐間村大字豐間字柳町日雇業鈴木ハン(六五)さんは俥勇君が此程應召したので餞別として貰つた一部五圓を二十七日平署を通じて國防費として献金した

出稼男行方

岩手縣氣仙郡猪川村字前田今野市之助さんは今二十七日朝の今野盛君の捜索方を平署に願ひ出た

盛君は軍籍に身を置き

電話の新規架設

申込案外尠い

時局の影響を受けて一般電話の新規架設は總て中止となつたが軍事上又は國家總動員上必要とするものは其標準を設けて特別開通をすることゝなり平局に於ては八月十六日より三十一日迄之が申請の受付を行つてゐるが今迄のところ案外申込が尠く架設豫定數消化困難を危ぶまれてゐる、因に本年度抽籤に外れた申込者で鑛業、鐵工場、其他標準資格を有するものは至急申込まれ度いと、尚申請用紙は同局で交付する由

一萬圓を投じ

街角に擴聲機

空襲警報やニュース

小名濱町役場の計劃

小名濱町では非常時局に對應して町内五十ケ所の街角にスピーカーを設け空襲警報、時事刻々のニュース等を役場から放送しやうと目下役場で計劃を進めてゐるが費用は約一萬圓とある

四倉漁港

第二期鋤入

四倉漁港の第二期工事は既報の如く工費十四萬圓二ケ年繼續事業で愈々起工されることになつたが來る二十九日午前九時から埋立地現場で君島知事臨席の下に鋤入式が行はれる

實彈の拳銃は

氣付ぬ發射

(既報)植田署會計巡査倉野實氏(三〇)が去る二十三日獻納された拳銃で左頬部に重傷を負つた事件は自ら引金を引いたものゝ如く傳ひられたが取調べの結果机を向ひ合せてゐる

青年指導講習會に出席して

平第一校　水竹生

・—(第三信)—

今朝は(二十四日)便所掃除當番だ、きたないもの、いやな所と思ふ便所も自分が手を下しての掃除となると、きれいなもの、きれいに使用すべきだ、否、せねばならぬ……便所の有難さをしみ〴〵と感じた

時局對策指導者講習會もいよ〳〵四日目、遲きかなたに、薄くぼんやりと何かをつかみ得た樣だ

丹羽生洲氏(皇典研究所講師)の敬神の本義を聞く、敬神とは神を自然現象の生みの親——親をうやまふ、神の、みおやの御心を心として、眞乎文化の精進する、ことである……何んとなく神の存在を認識したやうな氣もする、敬神傳法にひゝれをきらしながらも、五十四名は眞劍です

午後は航空大尉西條勝氏の軍航空に關する講話を聞く

非常時下の日本、世界と朝をとなふべき日本の航空に非常な關心をおぼへる、昨日に倍し建國体操に汗を流し筋力のいたさをかこちつゝ入浴、さつぱりした氣持ちで、上半の講習を終る、殘りは三日

漁業日本を死守して……

海の勇士等歸る

江名濱の賑ひ

選くカムチヤツカに出漁鮭漁に從事中だつた「海の勇士」江名港の各漁船は風雲急な日ソ關係の眞只中に漁業日本の生命線を死守して活躍豐漁を續けてゐたが數日前から續々寄港、これがため江名港はこれら凱旋の海の勇士に連日賑はつてゐる

時化氣味で心配の種子となつた天候は琉球大東島附近に起つた颱風が北々東に經路を取つたものが急に正北進行し勢力を失つて普通低氣壓に化して仕舞つたので時化の襲來は免れたがこれが爲め八丈島から中部地方が豪雨と化した爲め其影響で磐城地方は驟雨性と化した譯だがこれも長續きはないせい〳〵本日位のもので明日はカラリと晴れる

三時より講師の都合で自由時間、北より南へ、西から東へと、郷土自慢や何やらと部屋訪問、胸襟を開く

夕餐後道省の映畫「輝く日本」作成の友講習オールキャスト、となつて夕食、輪讀會を撮影する

夜は森の家生活最後の晩だその夜、別れの夜を歩む娯樂會だ、お國民謠に一座は拍手の嵐にくれる

× × ×

その中、栗原理事、鈴木主事(かつて平に一夜講習開いた時の講師)出席され、都市青年經營に關し種々話し合ふ、今夜程の收穫を毎日講話に得たかつた

× ×

いよ〳〵明日は本館(日本青年館)に歸るのだ……都の風にふかれることが出來る

二十五日板木の音を聞きもらす程のねむさ……それだけ馴れたのか……朝の体操は建國体操、昨日の練習に疲勞は筋肉各部がひし〳〵といたむ、午前、午後航空防空に關する講話、ねむく、こくり〳〵となる、その内容も、今迄に見た、聞いた話や本そのまゝ今日一日限りの森の家の生活に、何の得るところもないのは淋しい

福島民友軟式野球

平市で豫選

北島顯家卿六百年祭に際し福島民友新聞社では一般民の銃後健康增進を圖る爲め軟式野球大會を擧行するが石城郡下は來月十七日、平市内は同月二十四日午前九時から平商業學校敗地で各豫選を行ふと

赤井の日曹が出炭

一日百噸の好績振

赤井村日曹赤井鑛業所では燃料國策の波に乘つて若炭をしたがいよ〳〵此程出炭したので二十九日から發送するが一日の出炭量は百トンで成績良好である

初秋繭の初取引

四倉市場

石城地方の初秋繭初取引は既報の如く二十六日四倉繭市場で行はれたが

この日の出荷は小川村平市、大浦村方面から三百八十貫あり、相場は最高四圓九十錢、掛目三十三、糸量十三匁乃至十四匁、光澤解舒ともに良好であつた

尚同繭市場では九月七、八日頃迄引續き取引を行ふが最盛期は二十九日から九月一日頃まで〻總出荷數量は一萬八千貫を豫想されてゐる

落盤で壓死

好間村大字上好間字小舘古河炭礦採炭夫板坂萬七君(三〇)は二十五日第二新斜坑内で作業中落盤壓死した

内郷慰問品

内郷村銃後會ではこの程沼田村長が代表同村に於ける戰死者加藤正英君ほか〇〇名の遺家族に對し慰問品を贈つた

時の人素描(三)

小名濱支局通信

支局長　小野務平

出荷組合長　立花新次郎君

出荷組合が組織された原因は一ケ年二百萬圓を突破する水揚漁獲高の其七、八割は生造りの手に依つて中央魚市場を初めとして山間の地方に販路を持つ、然るに誰も彼れも一問屋に向つて送貸するから其仕切は各個人宛に送付すると其手數と料金のみでも莫大の雜費となつて各自の懷中に這入る利益が殺かる事となるので之の節約方法として立つたのが此組合である

假令へば東京魚市場に送つた鮮魚が十名であつたとせば各仕切を一纏めとして出荷組合に送致すると同時に合計金を送付すれば僅に一回で經費の點も十分の一でよいと云ふ事になるから其經費節減の上には一ケ年を通じては何千圓と云ふ捻出を見るので玆に眼を注いたと云ふのが立花君の ド偉い處である

處が其仕譯が實に細で仕切金の如きも細末に亘つて餘程頭腦の緻密なものでないと整理上に頓挫を見る事になるのが普通である、然るに君は此繁雜極まる仕事を茶番時に方付けて厘毛の相違を出さぬと云ふ計理に老げたる手腕の持ち主しである、それ許りか毎日出勤する自己の營業さへ人手にかけず其餘暇に無報酬で此の大任を平氣でやつて居る處に君の組合に捧ぐる赤誠が籠つて居るのである

記者が立花君を訪づれると必らず帳場に四五名の組合員を待たせながら仕切書の引合せをやつて順次支拂命令を會計係りの馬上庄次君の方へ廻してやるのを目擊するので冗談を試みた事がある、事務員に僕を傭はないかと、君は言下に君を頼む費用は誰が出すのかと頑張りを見せて營々として組合の爲めに奉仕を聊かも欠かない、それ位であるから問違も絶對に起なさい君はこんな話をしたのを記憶して居る

一日幾十通と來る仕切りを記帳して引合判を取り能く照合した上で支拂の通知を會計に廻すのであるから幾日か立つと支拂が滯むだか否か一寸ボツとする時に既に支拂つた仕切書を以て取立てに來る者が組合員にもあるのでうつかり出來ぬがこれは主人と妻君との懷中の打合せのない場合など起る事で組合としては迷惑の仕事の一つですが年にこれでも二、三回はあると呵々大笑して居た。

（未完）

平局の國債遂に賣切れ

けふ期間半ばに銃後の心强さ

既報、去る二十二日から賣出された第五回支那事變國債は各地とも旺盛な買れ行きを見せてゐるが二万八千三百四十圓を割當られた平局も六日目の今二十七日全部を賣盡し銃後の物凄い國債報國振りには牛崎局長始め局員一同感激してゐる、その種類並に枚數は左の如くである

△十圓券八十四枚△二十五圓券二十枚△五十円券二十枚△百圓券六十枚△五百圓券二十枚△千圓券二十枚

人妻の脅迫公判

既報失婚約束しながら他に嫁ぐとは何事だッ！と日本刀を揮へ暴れ込み既に人妻となつた女を脅迫した内郷村大字綴字秋山寫眞業半澤利三郎(二六)は其後平檢事局で富澤檢事の取調べを受けてゐたが今二十七日「脅迫罪」で起訴された公判は二十九日中谷判事係りで開廷される

行員の屍体

既報去る二十一日四倉海水浴場で水泳中行方不明となつた平市七十七銀行支店員佐藤安代(三四)氏は二十五日夜四倉築港南に死体となつて漂着してゐるのを發見されたが四倉署で檢視の結果死因は心臟痺痙とわかつた

騒雨性の雨もあすは晴れる

颱風は九州附近で全く勢力を失つた

東日本丸引取に小名濱代表出張

九月十日前後には雄姿を岸壁に

東北振興會社の建造に係る大型遠洋漁船東日本丸は本縣に貸與契約成立して小名濱港を中心として東日本漁業株式會社の組織となつて本縣から該會社が借り入れ遠洋漁業に從事する筈で其建造を急ぎつゝあつたが關西地方の大水害の爲めに建造用の諸材料輸送に一頓挫を來たし七月下旬廻航の筈である

處遂に納入期も一ケ月遲延となり今月末竣々完成引渡しと共に小名濱港に廻航する事となり去る廿五日、其引取役として水産試驗場長五十嵐氏(縣代表)水野小名濱漁業組合長日本漁業會社代表の兩氏は下の關に向つて出張したので九月十日前後には東日本丸の雄姿が小名濱灣内に浮び出す筈である

因に東日本丸は百三十五噸、三百馬力三十名乘込みで磐城丸の百二十噸、二百五十馬力二十人乘込に比し總てが大きい漁船で鮪漁專門に出漁するといふ

合長日本漁業會社代表の兩氏は下の關に向つて出張したので九月十日前後には東日本丸の雄姿が小名濱灣内に浮び出す筈である

因に東日本丸は百三十五噸、三百馬力三十名乘込みで磐城丸の百二十噸、二百五十馬力二十人乘込に比し總てが大きい漁船で鮪漁專門に出漁するといふ

人妻の脅迫公判

既報失婚約束しながら他に嫁ぐとは何事だッ！と日本刀を揮へ暴れ込み既

今晩の部

JOHK

▼後六、〇〇子供の時間　連續童話劇「ヘリウム小僧」コドモ會

▼後六、二五郷土一夕話「東京府の卷」玉川上水の開鑿、安藤直方

▲後七、三〇國民歌謡「萬歳ヒットラー・ユーゲント」大日本聯合青年團

▼後七、四〇講演「フランス人の時局觀」町田梓樓

▼後八、二五郷土演藝「鹿流狂言」山口市鹿流狂言保存會

▼後八、五五舞踊劇「新しき門」水谷八重子

明日の部

▼前九、三〇國民皆泳全國學童水泳大會實況(明治神宮外苑プールより中継)

▼後一、〇〇蘭洲より(ハルビン)管絃樂、ハルビン放送管絃樂團

▼後二、〇〇青年浪花節

▼後六、〇〇郷土演藝(子供の時間)世界名作童話アルバム(第五回)「カリフの鶴」神戸ゆりかご會

▼後六、二五講演「支那國民の演劇愛好心と放送作戰」寺平忠輔

▼後八、〇〇ラヂオ歌舞伎「或る日の信玄」(信州川中島合戰より)阪東蓑三郎一座

▼後八、四〇郷土演藝「荒神琵琶地神經」北田大音

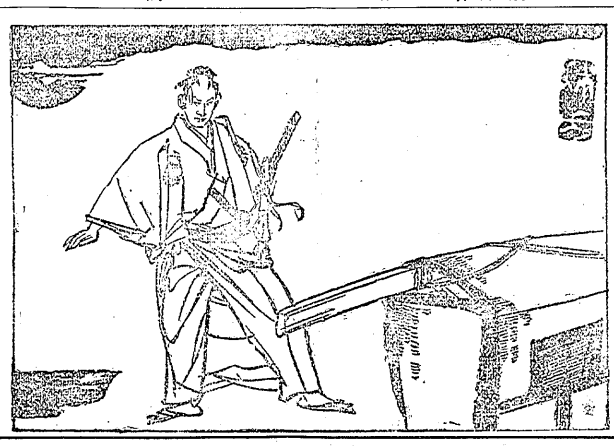
▼後八、五五連續ラヂオ小說「太閤記」市川八百蔵

女の姿(53)……四

前回迄の梗概

幾見大助はそのかみの殺家の女中おしんと子まで成した仲であつたが、生來を異かれ、女と別れた、六年後偶然の機會から有馬の湯で再會したが女には土地の岡ツ引の親分藤助がゐた、再會を喜んだ女は藤助から逃げ出した、しかし運命の神は皮肉にも二人を結びつけなかつた、女との再會は誤解され父から勘當を受けた大助は、女を捜し續ける途に變見して連れ戻つたが又も後はれ身は新選組の關係者を斬つたため同じ仲間からつけ狙はれる、これに絡む土方の友情、舞妓松千代の愛情、大助の行手は？

四條の橋の上を走る鴉籠が二



突然鴉籠が籠を破つた。

「待て！」

物陰蔭、人心地々としてゐる暮靄の時は昼夜のやうに、辻斬もある、暴漢もある。

食ふに困つた浪人などは、平氣で、强盜強姦をやつたものである。

鴉籠屋はなれてゐても、傍杖が怖ろしかつた。

「……」

ピタリと、足をとめて、聽つて聽かれなくなつてゐる。

「待て！」

今一度、命令した男は、抜刀の午後木村富士衛外

後六、〇〇（子供の時間）世界名作童話アルバム（第五回）「カリフの鶴」神戸ゆりかご會

後六、二五講演「支那國民の演劇愛好心と放送作戰」寺平忠輔

後八、〇〇ラヂオ歌舞伎「或る日の信玄」（信州川中島合戰より）阪東蓑三郎一座

後八、四〇郷土演藝「荒神琵琶地神經」北田大音

後八、五五連續ラヂオ小說「太閤記」市川八百蔵

「出ろ！」

鴉の聲くやうな聽であつた。

「鴉籠だ！」

と、鴉籠の内からきゝかへした。

「おやッ」

抜刀をさげた男は二人、その聽を聞いて不敵の面

「こちの鴉籠は！」

と、一方に近づく

「おい、出ろ！」

だが、返事がない。

「聞らぬのか」

刀の鐺を、聽れを撥ねやうとするその一瞬、白刃が、物をも云はずに、サッと撥れた。

「痛を」

ひらりと、飛んで、棚手が、足を拂つたのを巧に避けた軽快な動作は、全く、暴客の與ではない。

「あちをやるな！」

鴉籠から出たのは、土方歳三であつた。

「おやッ」

「暴漢か」

「おう、人斬ひか」

「どうあつても、やるね」

「仕方がない、男の覚悟ちや」

暴漢は、さう云つて、鴉の中に姿を消した。

「笑殺り出たね」

と、土方は、今一つの鴉籠に乘つた近藤に囁いてゐる。

「しかし、うまく逃げたね」

「いや、逃げやしない、見ていふ顔はいつかはやるね」

「暴漢らしい」

「仕方がない」

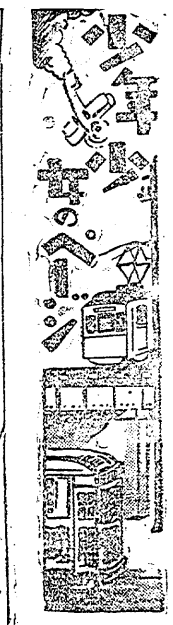
二人は、又鴉籠に入つた。

雨はバラ〳〵ッと、怨しくなつて來さうである。

暴漢はその夜、別の部屋で、同志と一緒にのんでゐたのであるが、他の連中は、近藤、土方の姿見に同乘したのであるが、暴漢だけは、首を振つたばかりで、酒を聽して、自由の行動をとることになつたのであつた。

「誤られな、とは、彼は氣付いてゐる。今までは、手生の聽で暴漢してゐたのだが、暴漢するとなつて見れば、手生へ聽ることも如何にも嫌だ。

處が、暴漢に大勝の餘をよく知らないのである。



面白小話

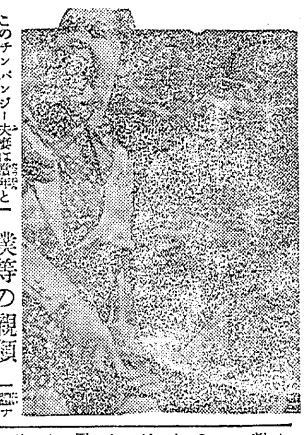
「坊や、坊や、カガミの話をお目むりつてなにしてるの」坊「だつてねお母ちゃん、坊が坊のこと、鏡がとてもかわいいつて云ふから、今見やうと思つてるのし」

動物で一番利口な アフリカの黒猩々！

……初めて上野動物園に來た……

……顔や動作が人間そつくりで……

とても滑稽ですよ



このチンパンジー夫妻は當年とて四歳、人獣ならば若さんのやうに、ちやうど十一、二歳のころ、身長は二尺五寸、何よりもパンツ、果物が大好物であります。

僕等の親類

ゴリラとチンパンジーはゴリラと同じくアフリカ獣ですが、われ〳〵人獣の歳ごし、顔の傑きがよく似てをり、獣といつても、いくらか、獣や物しかも獣獣さんにもなり、お芝居なども立派にやつてのけるから、大したものでせう。

しかも動物の御間では一等の智者とあがめられてゐます。

うれしい 誕生日一番

のゴリラは、どうも若干が死つばく、人獣とよくなれませんが、わがチンパンジー君は、昔から人獣と仲よしのお友達で獣園の名獣物園に、彼氏のゐないところは殆どないと云はれ、英國のロンドン動物園では、このチンパンジー君のお誕生日に、小学生の可愛い若さんが、わざ〳〵お親ひものをとどけたり、もつてきてやるらしい。

感心ですねえ 大君の救世軍

獣獣をしたり御獣がいただけない一可愛さうなお友達のワンくんのために、町をさまよひ歩いて、若さんのお慰みをあつめてゐるワン君のいじらしさを、見てやつてください！

「まア感心ね。あたし、お小遣ひの殘りをあげるわ」と、可愛いお獣ちゃんが、眞心こめて獣んでやつてゐます。

このワン君は、お家もない野良犬だつたのですが、日本人道會のガムに救はれて、こんないゝ家を仕込まれたのです。まるでワン君の救世軍、と云つたところぢやありませんか。

電話掛けたり 歌つたり

獣獣獣渡りも大繁盛

動物中の智者といはれるチンパンジーは、自獣車のハンドルを廻つたり、自獣車を乗りまはすばかりか、獣獣屋さんにもなり、お芝居なども立派にやつてのけるから、大したものでせう。

氷山の話

恐ろしいが海の偉觀

上　獣獣獣のチンパンジー夫妻も、やがては日本の獣獣をきて、お獣で獣を食べるやうになるだらうと、獣さん獣にたしとぬられます。

氷山は四五月獣獣から多くその獣に獣獣獣や北氷洋に現しますが、氷山はどうして出來るのでせうか——

氷山は海獣海水が凍つて出來やうに思はれますが、さうではありません、あれは北極や南極の陸地に降り積つた獣がだんだんさなり、その目方のために獣い氷の山となり、それが自然に這さや獣獣の力の助力で獣獣獣